

Services

主なサービス



01 i Consult

バーチャルナーシング

Caregility iConsultは、専用のデバイスやPC、またはモバイル端末を使って、患者やベッドサイドの看護師が遠隔の医療従事者との間で双方向の音声およびビデオ通話を行うためのアプリです。ワンクリックで簡単に医療従事者との間でバーチャルでの往診を実現します。そして、遠隔のベテラン看護師や専門医と相談したり共同作業を行うことができます。

Point 01

- APPダウンロード不要で通話に招待

アプリのダウンロードは不要で、テキストや電子メール、または電話で遠隔の専門医、看護師、患者家族を通話に招待できます。

Point 02

- プライバシーを保護しながら通話可能

iConsultには、プライバシー保護の目的で、医療チームがメンバーとの医療相談中の患者保留機能が備わっています。

Point 03

- お手持ちのモバイルデバイスで安全な双方向通話へ変換

お手持ちのモバイルデバイスで、遠隔相談や評価・判断のための安全な双方向通話装置に変えます。

Point 04

- 電子カルテを含む、EHRにも統合可能

iConsultはiOSおよびAndroid、ChromeおよびSafariブラウザで動作し、電子カルテを含むEHRにも統合できます。

02 iObserver

遠隔モニタリング

Caregility iObserverは、1人の看護師が同時に複数の患者をカバーできるようにする継続的な患者モニタリングソリューションです。Caregility iObserverを使用すると、任意の遠隔地にいる最大16人の患者を1台のモニターで継続的に観察できます。ナイトビジョン付き高性能カメラを使用して、より精度の高い緻密な観察を実現します。



Point 01

- 最大16名の患者を1台のモニターで

1人または複数の患者を観察します。看護シフト時に既存の状況について簡単に引き継ぎます。

Point 02

- 患者の映像と共にリスクレベルを表示

各患者の映像から、患者のリスクレベル、観察する目的、および追加情報を表示します。

Point 03

- 音声および映像機能を活用し状況に応じて遠隔から介入

音声および映像機能を活用して、患者の安全に対する脅威が検出された場合に遠隔から介入します。

Point 04

- 電子的に文書化して報告

各対応後に患者への処置を追跡し、電子的に文書化して報告します。



Connecting Care Everywhere

あらゆる場所でケアをつなぐ、
インテリジェントな遠隔ヘルスケアソリューション



正規販売代理店：株式会社メディアプラス
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-6
清水書院サービス第2ビル7F
TEL: 03-3237-9003 FAX: 03-3237-9005
WEB: <https://www.mediaplus.co.jp>

医療従事者の働き方改革と患者への最大限のケアをCaregilityで実現する。

Caregilityは医療従事者がリモートで医療現場とシームレスにつながることで、作業効率を高めながら医療チームを強化し、患者の安全性とコミュニケーションを向上できるよう支援しています。

リモートから多くの患者をケアする看護師がいることで、医療現場にいる看護師はより複雑な患者とのやり取りに集中できるなど、Caregilityによって患者と医療従事者の双方に利益をもたらす、ハイブリッドケアが可能となります。現在の医療業界の課題である人材不足や、医療従事者の過度な労働を改善しながらも、患者への看護品質を向上させ、さらには患者家族に対しても高い満足度を与えます。

 **caregility** で遠隔地の医師や看護師をリアルタイムでつなぐ
Connecting Care Everywhere

N to N / N to P
Nurse to Nurse / Nurse to Patient

- リモートからベテラン看護師が若手看護師を支援（教育・監督）
- 複数の患者の様子をリアルタイムで監視、異変があれば現場スタッフへ連絡



病院

D to D / D to N
Doctor to Doctor / Doctor to Nurse

- 病院の医療スタッフとリモートの専門医が連携し、より高度な治療を行う
- 医師不足の医療現場に遠隔地の医師が支援



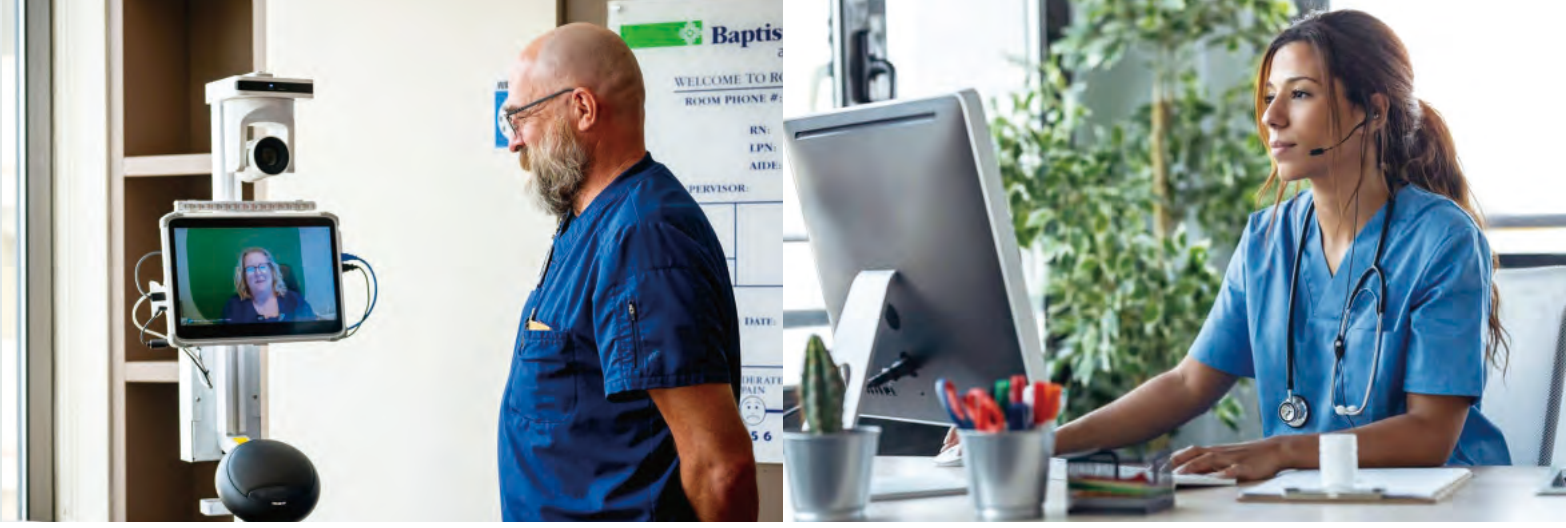
遠隔地にいるベテラン看護師

D to P with N
Doctor to Patient with Nurse

- 病院の看護師と連携しながら、遠隔地から医師が患者の診察を行う



遠隔地にいる専門医



医療従事者に、新しい働き方を。

バーチャルナーシングによって適切な労務管理やタスクシフト・シェアなど、院内業務の効率化を促進します。Caregilityで、それぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できるワークフローを形成し、安心して働き続けられる病院環境を構築します。

米国での実績

現場の看護師が入院手続き書類作成に通常費やす時間

最大 **25%** 節約

現場の看護師が退院書類作成に通常費やす時間

最大 **67%** 節約

看護師の離職率・院内感染減少等
200床の病院での年間コスト

1億7千万円
削減

 **caregility** で実現するバーチャルナーシング
Connecting Care Everywhere

入退院

バーチャルナースは入院履歴、投薬リストの確認、文書作成をサポートし、ベッドサイドの看護師の時間を節約します。



スタッフの指導とサポート

専門的なバーチャルナースの指導を初心者のベッドサイドスタッフにまで広げ、トレーニング及び患者ケアのプロセスを強化します。



投薬確認

バーチャルナースは、ベッドサイド看護師のために投薬の2回目の署名検証とEHR文書化を実行できます。



患者教育

リモートで入院中患者のトークバック確認をサポートし、退院に向けた十分な準備を確認、再入院の可能性を減らすことができます。



巡回と相談

複数の施設や他分野にわたるケアチームの連携を促進し、スタッフのバランスをサポートして出張看護師への依存を減らします。



遠隔緊急対応

臨床医が現場から離れている場合のケアのギャップを埋めるために、ラピッドレスポンスが必要となった場合にチームの評価を調整します。



多分野に渡る遠隔コンサル

患者と現場医療スタッフに対し、ベテラン看護師がバーチャル往診を行うことで専門性のある相談を提供します。



遠隔モニタリング (CDS)

リモートで複数患者を1台のモニターで継続的にモニタリングし、患者の安全に対する脅威が検出された場合に遠隔から介入します。



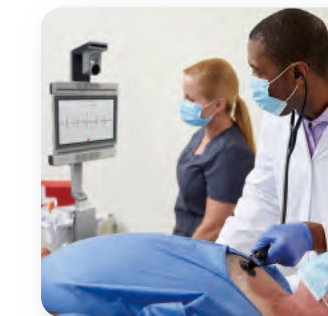
Case

事例

生理学的情報をシステムに統合し、デジタル医療機器とインテグレーションすることで遠隔ヘルスケアを補完します。ここでは一例として、エコシステムパートナーの最新のデジタル聴診器のインテグレーションの事例をご紹介します。

Case Study

- デジタル聴診器は、Bluetooth経由でクラウドを介してリモートの専門医に患者の検査結果をリアルタイムで伝送
- リモートの専門医は、患者の状態確認・医療機器のデータ確認・病床の医師や看護師との会話を同時に行える
- 高品質の心音と肺音の伝送に加えデジタル聴診器のソフトウェアにより心音と肺音を視覚化する (PCG/EGC)
- データは暗号化され、HIPAAおよびSOC2に準拠



ベッドサイドの医師と看護婦



クラウド



リモートの専門医

Result

デジタル聴診器からの患者の聴診器音はリモートの専門医に高品質で届けられるだけでなく、デジタルデータ化され、視覚化されます。さらには、デジタル聴診器の循環器疾患検出ソフトウェアにより心不全の可能性の有無が即座に判断可能となります。